

■平成30年度 出前授業提供科目一覧【水産学部】

科目及びテーマ	職名 担当教員	授業が 可能な 曜日	授業内容	対象生徒	授業に必要な機材等 (高校で準備するもの)
海洋の科学	教授 中村 啓彦	事前相談 により調整	地球規模での海洋の成り立ちや運動の仕組みを理解する。そして、海洋変動が1)地球の気候変動と2)海洋の生物資源変動に及ぼす影響を考える。	全学年	プロジェクター スクリーン
水産資源と食料問題	教授 佐野 雅昭	随時(事前 相談により 調整可能)	日本と世界の水産資源問題を日本人の食料の観点から論じる。馴染み深い食材であるサケやマグロ、サンマやウナギの消費と資源問題を地球規模で学ぶことができる。	全学年	プロジェクター スクリーン
日本の食育と魚食文化	教授 佐野 雅昭	随時(事前 相談により 調整可能)	水産物の生産から消費までを分かりやすく説明し、日本の食料問題と魚食の意義について正しい知識を紹介する。また食育の重要性と賢い消費行動について学ぶ。	全学年	プロジェクター スクリーン
水産業と水産学 ～その意義と責任～	教授 佐野 雅昭	随時(事前 相談により 調整可能)	水産業は食品産業の1つであり、漁業や食品加工業、食品流通業から成り立っています。また水産業は日本が国際的な競争力を持つ唯一の食料生産産業です。海から食料を供給することの大切さや面白さ、そしてそれを支援する水産学を学ぶ意義、さらに水産業界や食品業界で働くことの喜びや責任を分かりやすく伝えます。	全学年	プロジェクター スクリーン
錦江湾深海底の生き物たち	教授 大富 潤	随時(事前 相談により 調整可能)	錦江湾深海底に生息する生物の生態や私たちのかかわりについてわかりやすく紹介する。	全学年	プロジェクター(持参可能) スクリーン
川のエビ・カニはどこから来るの？	教授 鈴木 廣志	事前相談 により調整 可能	淡水のサワガニ類やテナガエビ類の生活史を解説し、身近な川のエビ・カニ類の生物学を理解してもらいます。また、島嶼の多い鹿児島島の島の成り立ちを川のエビ・カニの生息状況から解き明かします	生物に興味のある 生徒	プロジェクター スクリーン
意外に面白い煮干しの解剖	教授 山本 淳	事前相談 により調整 可能	煮干しは簡単に解剖できて魚の体の仕組みがよくわかる。	生物に興味のある 生徒	—
食べたら危険！人体寄生虫と魚類	教授 山本 淳	事前相談 により調整 可能	生食すると危険な人体寄生虫と、その中間宿主である魚類を紹介する。	生物に興味のある 生徒	—
死んだクジラが深海底で果たす役割	教授 山本 智子	事前相談 により調整 可能	鯨の死骸のような巨大な有機物が沈むことで、生物生産に乏しい深海底にどのような影響を与えているのか、深海調査の様子も含めて紹介する	全学年	プロジェクター スクリーン(又は投影できる ホワイトボード) *プロジェクターは持参可能
生物がつなぐ森-川-海の生態系	教授 山本 智子	事前相談 により調整 可能	森林-河川-海という離れた生態系を結ぶ物質の流れとその循環を担う生物の役割について考える。	全学年	プロジェクター スクリーン(又は投影できる ホワイトボード) *プロジェクターは持参可能
忍者が教える海のモヤシモン育成講座	教授 前田 広人	随時(事前 相談により 調整可能)	環境微生物の分野から、赤潮対策やヘドロ底質の改善研究について紹介する。また分子微生物生態学の分野から、海洋深層水の応用やプロバイオチックの応用について紹介する。(元三重大学伊賀研究拠点所長)	全学年	スクリーン
食卓からカツオ節が消える！？	准教授 久賀 みず保	随時(事前 相談により 調整可能)	身近な食材であるカツオ節を題材に、消費者のカツオ節利用の変化をわかりやすく紹介しながら、現代的な食のあり方とその問題点を一緒に考えていきたい。	全学年	プロジェクター スクリーン

■平成30年度 出前授業提供科目一覧【水産学部】

科目及びテーマ	職名 担当教員	授業が 可能な 曜日	授業内容	対象生徒	授業に必要な機材等 (高校で準備するもの)
魚類の知られざる多様な生態について	准教授 久米 元	随時（事前 相談により 調整可能）	身近な川と海に生活する魚類の様々な環境に見事に適応した知られざる生態について、最新の研究成果を交えつつ紹介する。	全学年	プロジェクター スクリーン
生物 意外と身近な微小な生物： プランクトン	准教授 小針 統	事前相談に より調整	水圏生態系の基盤を成すプランクトンの生態について紹介します。目に見えない微小な生物が地球規模の生態系を支え、意外と人間生活の身近な存在であることを学びます。	全学年	プロジェクター スクリーン
石油汚染が起こったら？ ～水生生物への影響と環境 修復の難しさ～	准教授 宇野 誠一	随時（事前 相談により 調整可能）	海域ではタンカーの沈没や油田掘削場の事故などにより、数年に一度大規模な石油汚染が起こっている。この石油汚染を例に、海域汚染が起こったときに水生生物にどのような影響を与えるか、我々人間には影響はないのか、環境修復法にはどのような方法があるか、などを紹介する。	全学年	プロジェクター スクリーン
魚の体調から化学物質影響 を知る	准教授 宇野 誠一 助教 國師 恵美子	随時（事前 相談により 調整可能）	魚をはじめとする全生物は生体内代謝をフル活用して恒常性を維持し、健康を保っている。近年、生体内の全代謝を調べて恒常性の”乱れ”を検知し、そこから生物の”不健康な状態”を見出すメタボロミクスと呼ばれる手法の研究が盛んに行われている。その一部は既に人間の病気診断に用いられている。ここでは、我々のこれまでの研究成果などを交えつつ、このメタボロミクスを用いて、魚の化学物質影響を調べる新しい方法について紹介する。	全学年	プロジェクター スクリーン